

【県の指摘】「リニア中央新幹線静岡工区有識者会議(環境保全有識者会議)に対する意見について」(令和5年 11 月1日)

- ・県がこれまで意見書により伝えた留意点や課題点について、十分な議論がなされていない。
- ・工事着手前の生態系への影響予測をしていない現在の案では、J R東海が順応的管理を適切に実施できないことが懸念される。
- ・国有識者会議において、十分に議論されないまま報告書に取りまとめられた内容もあるほか、具体的な結論が今後の検討に委ねられている内容もある。
- ・国有識者会議は、「J R東海の実施計画に対して具体的な助言・指導等を行うことを目的」として立ち上げられたものである。下記「今後も議論が必要と考える主な課題」等が十分に議論されないまま報告書が確定することになれば、当初の目的にそぐわないと考える。
- ・下記「今後も議論が必要と考える主な課題」について、国有識者会議において十分議論をして、その結果を反映した国報告書を取りまとめるよう強く願う。

記

「今後も議論が必要と考える主な課題」

1. 沢の水生生物等への影響予測が行われていない。
2. 生態系の損失に関する評価がされていない。
3. 沢の上流域の生物調査が不足している。
4. 流量変化の予測に影響する断層区分の設定根拠が明確にされていない。
5. 断層によって高標高部の湧水と地下水が繋がっていないことの検証が不十分である。
6. 水質、水温の変化により底生生物への被害が懸念される。